

もくじ

- 新型インフルエンザのシミュレーションを行って ①
- 診療科紹介 眼科 ②
- 認定看護師紹介 ③
- 外来診療表 ④

新型インフルエンザのシミュレーションを行って

ICT

当センターは第一種感染症指定医療機関であるため、有事に備えて感染症病棟を使用したシミュレーションを毎年実施しています。今年度は東播磨圏域新型インフルエンザ対策圏域協議会と合同で新型インフルエンザを想定したシミュレーションを実施しました。

新型インフルエンザが発生した時は、海外発生期の段階から東播磨圏域6か所の施設で専用外来が設置されます。当センターも対象施設ですが専用外来に関するシミュレーションは実施した事が無かったため、感染症病棟のシミュレーションに追加して専用外来（トリアージ外来）のシミュレーションを行いました。シミュレーションの流れは①相談・連絡対応の机上訓練②専用外来（トリアージ外来）シミュレーション③感染症病棟シミュレーションです。専用外来（トリアージ外来）には健康福祉事務所が設置した相談センターから紹介があった新型インフルエンザを疑う患者さんが来られます。そのため、一般診療を受診に来られた患者さんに曝露しないように地下の感染症診察室前スペースを利用します。しかし、相談センターなどに連絡をしないで受診する患者さんの事も考えると、どの程度患者さんが来院されるか分からず待ち合いスペースもないため、車内で待機してもらい車内で診察を行う体制にしています。そして、濃厚に疑わしい場合のみ感染症病棟で対応します。



参加者と見学者は院内と院外合わせて93名でした。シミュレーション後には意見交換を行い、問題点や疑問点などが明確になりました。

現在は新型インフルエンザ未発生です。しかし、インフルエンザウイルスは変異を起こしやすく数十年に1回は新型インフルエンザが流行する可能性があると言われています。今回のシミュレーションで明確になった問題点に関しては対策を検討するとともに、今後は地域の方たちにもインフルエンザや感染症を知ってもらい、正しく受診ができる様に研修会の開催を行っていきたいと思います。

